**コロナ危機をのりこえ、新しい日本と世界をーー改定綱領を指針に**

**はじめに――コロナ危機を体験して、新しい社会への模索が**

**一、新自由主義の破たん――自己責任の押しつけでなく、連帯の力で未来を開こう**

**世界――米国でもヨーロッパでも、新自由主義への厳しい批判がわきおこる**

**・米国――「新自由主義は全くの誤ち、惨めな現実をつくりだした」**

**・ヨーロッパ――「失敗に終わった処方箋に戻ってはならない」**

**・「社会というものが存在する」――新自由主義の推進者の側からも見直しが**

**日本社会のあらゆる面が脆弱にされた――いまこそ新自由主義からの転換を**

**・「医療崩壊の瀬戸際」――長年にわたる医療費削減路線の結果**

**・保健所の深刻な疲弊――新自由主義によるリストラが招いた**

**・新自由主義からの転換を野党共闘の旗印に掲げ、野党連合政権への道を開こう**

**コロナ危機を克服してどういう日本をつくるのか――７つの提案**

**・コロナ後には前の社会に戻るのでなく、よりよい未来をつくろう**

**・「財界中心」「米国いいなり」政治をただし、日本の政治の根本的変革を**

**二、資本主義という体制そのものが問われている**

**格差拡大は、パンデミックのもとで急速に加速している**

**・貧困層は一番の犠牲を負わされ、富裕層の資産はあっという間に急増・回復した**

**・途上国は、他の感染症への追い打ち、貧困の悪化、食糧危機に苦しんでいる**

**新しい感染症の多発と地球環境破壊――資本主義による「物質代謝の攪乱」**

**・新しい感染症――環境破壊によって動物がもっていたウイルスが人間に**

**・世界自然保護基金（ＷＷＦ）の告発と「ワンヘルス」アプローチの呼びかけ**

**・資本主義のもとでの利潤第一主義が、ウイルスとヒトとのバランスを壊している**

**「資本主義の限界」が語られ、社会主義への希望が広がっている**

**・「誰もが資本主義は限界だと感じているのではないか」（京大総長・山極寿一氏）**

**・米国の若者のなかで、「社会主義」賛成が「資本主義」賛成を上回った**

**・社会主義に進むことにこそ、問題の根本的解決の展望がある**

**三、国際社会の対応力が試されている――諸政府と市民社会の連帯で危機の克服を**

**米国と中国の体制的矛盾が噴き出し、対立が深刻になっている**

**・米国・トランプ政権――「自国第一主義」で国際協力に背を向ける**

**・中国――人権侵害と覇権主義という体制的問題点がむき出しになった**

**パンデミック収束へ――国際社会の連帯と協力を呼びかける**

**・国際社会の連帯と協力は、一歩一歩、前進している**

**・パンデミック収束へ国際協力を――日本共産党の４つの呼びかけ**

**・感染症対策に国際協調で取り組んできた歴史を、いまこそ発展させるとき**

**四、人類史のなかでパンデミックを考える**

**パンデミックは歴史を変える契機になりうる――１４世紀のペスト**

**・ペスト大流行は、ヨーロッパ中世の農奴制を没落させる一つの契機となった**

**・「労働者規制法」を出発点とした「資本家と労働者の数世紀にわたる闘争」（マルクス）**

**新型コロナ・パンデミック――歴史の変化を加速する動きが起こっている**

**・米国の黒人暴行死事件――植民地主義、奴隷制度への歴史的見直しを迫る運動が**

**・「ダーバン宣言」の実施をうたった国連人権理事会決議――歴史の進歩を加速**

**改定綱領を手に、コロナ危機をのりこえ、新しい日本と世界を**